

東京都アルコール 健康障害対策推進委員会 東京断酒新生会の活動報告と 今後の計画・要望事項



2022年3月23日
東京断酒新生会事務局長
保坂昇

1. 2021年度活動報告

(1) 例会開催

コロナ感染予防対策の影響は減った。ほぼ通常とおりの例会開催。

Zoomによるオンライン例会も毎月10回程度開催している。メリット・デメリット両面あり。

(2) 酒害相談活動

本部事務所・各地域断酒会に対応。
ホームページを見ての相談が多い。

(3) SBIRTS活動

昭和大学烏山病院の常岡先生と保坂が毎週金曜日にSBIRTSを担当しています。

- ・ アルコールの初診の患者や家族。
- ・ 病院の携帯電話から保坂へ直接電話。
- ・ 談話室等で患者やご家族に電話を渡し、
看護師や医師は席を外す。

SBIRTSの効果

- 年間40人ほどの患者やご家族との対話。
- 断酒会を知っていただく機会の増加。
- 病院からだとは患者や家族も話しやすい。
- 見学者、入会者の増加。
- SBIRTSからの入会者が2年継続している。

(4) 教育研修、啓発活動

- 酒害相談研修等の勉強会はコロナ感染防止のためほぼ中止。

- 全断連の全国大会、ブロック大会もほぼ中止。

Zoomによる代替行事は増えています。

- 東京断酒新生会のSBIRTSセミナー

厚生労働省民間団体支援事業として制作。

Youtubeで公開中です。

<https://www.youtube.com/watch?v=kOmXrGSBIRA&t=667s>

2. 2022年度活動計画

(1) 例会開催

(2) 酒害相談活動

(3) SBIRTS推進・周知活動

SBIRTSについては行政、医療機関の方により知っていただく機会を増やし、活用したいです。

3. 要望事項

(1) 例会場無償提供

アルコール健康障害対策推進法第二十二条に記されている支援の具体策として無償提供の制度化をしてほしい。

(2) 各機関連携の強化

保健所、医療機関、警察、行政、断酒会の活動の連携強化。

(3) 2023年全断連全国（東京）大会について

・ 2023年10月15日（日）
立川ステージガーデン（客席2400人）
全日本断酒連盟第60回全国（東京）大会

東京都との共催事業にしたいと希望しています。

以上です。
ありがとうございました。

